



三機工業

丸ベルト駆動ローラコンベヤ

リングラー

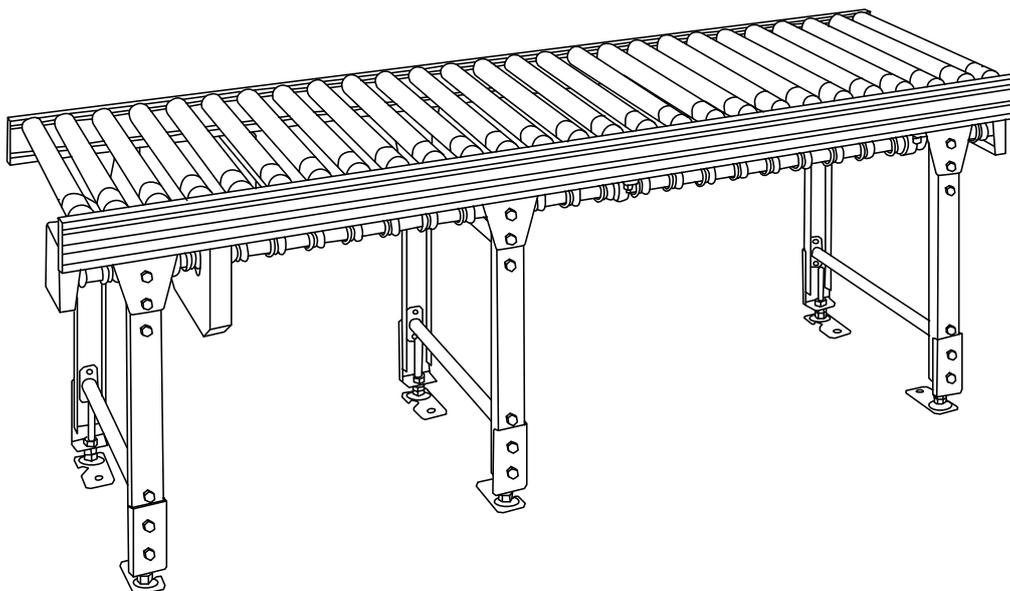
®

RAD

アルミフレームタイプ

Round-belt Driving Roller Conveyor RINGLER

取扱説明書



このたびは、丸ベルト駆動ローラコンベヤ リングラーをご採用いただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はコンベヤの設置場所に備え付け、必要に応じてご覧ください。



目 次

1. 取扱い上のご注意	4
2. 構造説明	8
3. 各部名称	9
4. 組立	11
5. 運転	14
6. キャリアローラ	15
7. 丸ベルトの交換	16
8. 点検項目と処置	17

次の形式のものは専用の取扱説明書をご覧ください。

RAMR 形

「丸ベルト連動ローラコンベヤ リングラー RAMR 取扱説明書」

RAMF・RAMC 形

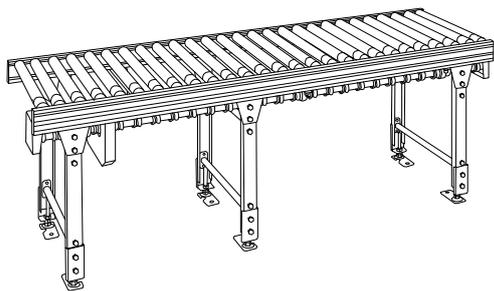
「モーターローラ連動ローラコンベヤ リングラーエムエム 取扱説明書」

RAV・RACV 形

「Vリブベルト連動ローラコンベヤ RAV(ストレート)/RACV(カーブ) 取扱説明書」

ご注文通りの製品が納入されているかお確かめください。

万一ご注文の品と異なる点がございましたら、ご使用前にご連絡ください。



製作 No.形式ラベル
(ドライブカバーに貼付け)

付属品 (予備品)
・マジックリング 2本

コンベヤ仕様 銘板

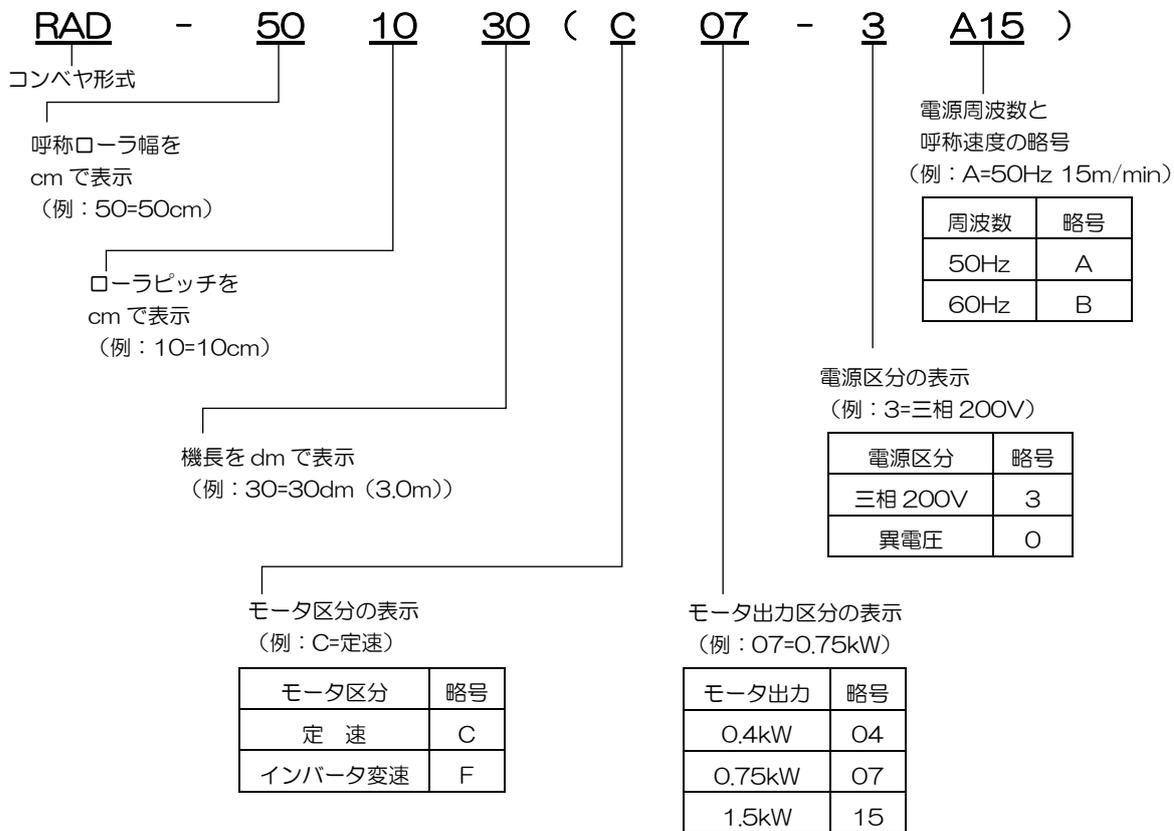
製作年月 20□□年□□月

JOB No. □□-□□□□□-□□□□-□□

RAD-501030 (C07-3A15) 1/6 , M=□□ P=□□

減速機比

ドライブsprocket歯数
(M: モータ側、P: プーリ側)



A.お使いになる前に

**注意 (CAUTION)**

取扱いを誤った場合に、損害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

**■運搬・組立時**

運搬・組立などの時にコンベヤを落としてケガをしないように十分に注意して行ってください。また、クレーン等による吊り上げの時のバランスにも注意してください。

**■アース線・漏電しゃ断器**

感電防止のため、必ず「アース線」を接続してご使用ください。また、電源側に「漏電しゃ断器」を取付けてご使用ください。(電気設備技術基準に定める保護装置のある回路でご使用ください。)

**■非常停止装置 (釦)**

万一のとき、直ちにコンベヤを停止できるように「非常停止装置 (釦)」を設けてご使用ください。更に、ご使用前には「非常停止装置 (釦)」の位置と作動状態の確認を行ってください。

**■起動警報装置**

運転操作位置からコンベヤをすべて監視できない場合には、起動を予告する「起動警報装置」を設けてご使用ください。

**■水ぬれ防止**

室内で水などのかからない場所でご使用ください。屋外に放置しないでください。防水仕様になっていません。また、濡れた手で電気部品に触れないでください。

**■爆発雰囲気使用禁止**

爆発の危険のある雰囲気 (危険なガス、粉塵などのある場所) では使用しないでください。

 高所または傾斜でご使用の場合は…**■下面カバー・立入り防止柵**

コンベヤの下に人が立ち入る恐れがある高さの部分には危険防止のため必ず「下面カバー」または「立入り防止柵」(いずれもオプション) を設けてください。

■ガイドレール・上面カバー・サイドカバー

運搬物の落下を防止するため「ガイドレール」または「上面カバー」「サイドカバー」(いずれもオプション) を取付けてください。

**■ブレーキ装置**

傾斜でご使用の時、コンベヤの逆走・逸走のおそれがある場合は「ブレーキ装置」(オプション) を取付けてください。

■周囲条件

周囲温度：0℃～+40℃

周囲湿度：相対湿度 90%以下 (結露のないこと)

雰囲気：屋内 (腐食ガス、ちり、ほこりのない所)

標高：1,000m 以下

[注] 放送機器や高周波ウェルダ―機器の近くなどの強電界場所では、誤動作を起こすことがあります。(その場合は設置場所をできるだけ離すか、十分なシールドをしてください。)

B.運転中

	警告 (WARNING)	取扱いを誤った場合に、重大災害が生じることが想定される場合。
	■接触禁止 コンベヤ運転中は、絶対に手を触れないでください。コンベヤに巻き込まれてケガをすることがあります。	
	■上乗り禁止・くぐり抜け禁止 コンベヤの上に乗ったり、コンベヤの下をくぐり抜けたりしないでください。転倒したり、コンベヤに巻き込まれたり・はさまれたりしてケガをすることがあります。	
	注意 (CAUTION)	取扱いを誤った場合に、損害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。
	■はさまれ・巻き込まれ防止 コンベヤに近づいて作業を行う場合は、はさまれ・巻き込まれないよう十分ご注意ください。思わぬケガをすることがあります。	
	■チェーンカバー・安全カバーは外さない チェーンカバーや安全カバーなどが付いている場合は、保守・点検などの時以外は外さないでください。プーリなどの回転部に巻き込まれてケガをすることがあります。	
	■高温注意・モータにふれない コンベヤ運転中および停止直後は、モータ・コントロールユニットなどに手を触れないでください。高温になることがあり、火傷などの傷害の恐れがあります。	
	■負荷起動禁止 コンベヤ上に運搬物をのせたまま起動すると過負荷になりモータを焼損する恐れがあるため、モータ容量に適した過負荷保護装置（オーバーロードリレー）を設置してください。特に変速仕様で低速で長時間運転をするとモータを焼損することがあります。カタログに表示されている所定の仕様・運搬能力の範囲内でご使用ください。	
	■ぶら下がり禁止 コンベヤの先端にぶら下がったり、押し下げたりしないでください。転倒などでケガをすることがあります。	
	■転倒防止 コンベヤをご使用の際、屋内・屋外にかかわらず転倒防止のため、必ずアンカーボルトなどで固定してください。	

C.お使いになった後に

	注意 (CAUTION)	取扱いを誤った場合に、損害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。
	■電源を切る 移動・点検・清掃などのときは、必ず電源を切ってから行ってください。電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。また、長時間ご使用にならないときは、漏電防止のため必ずコンセント（またはコネクタ）プラグを抜いてください。	

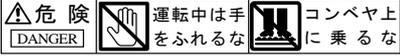
[注]

1. 労働安全衛生法および労働安全衛生規則を遵守してご使用ください。
2. お客様による改造、または用途以外のご使用については、弊社の保証範囲外となりますのでご承知おきください。

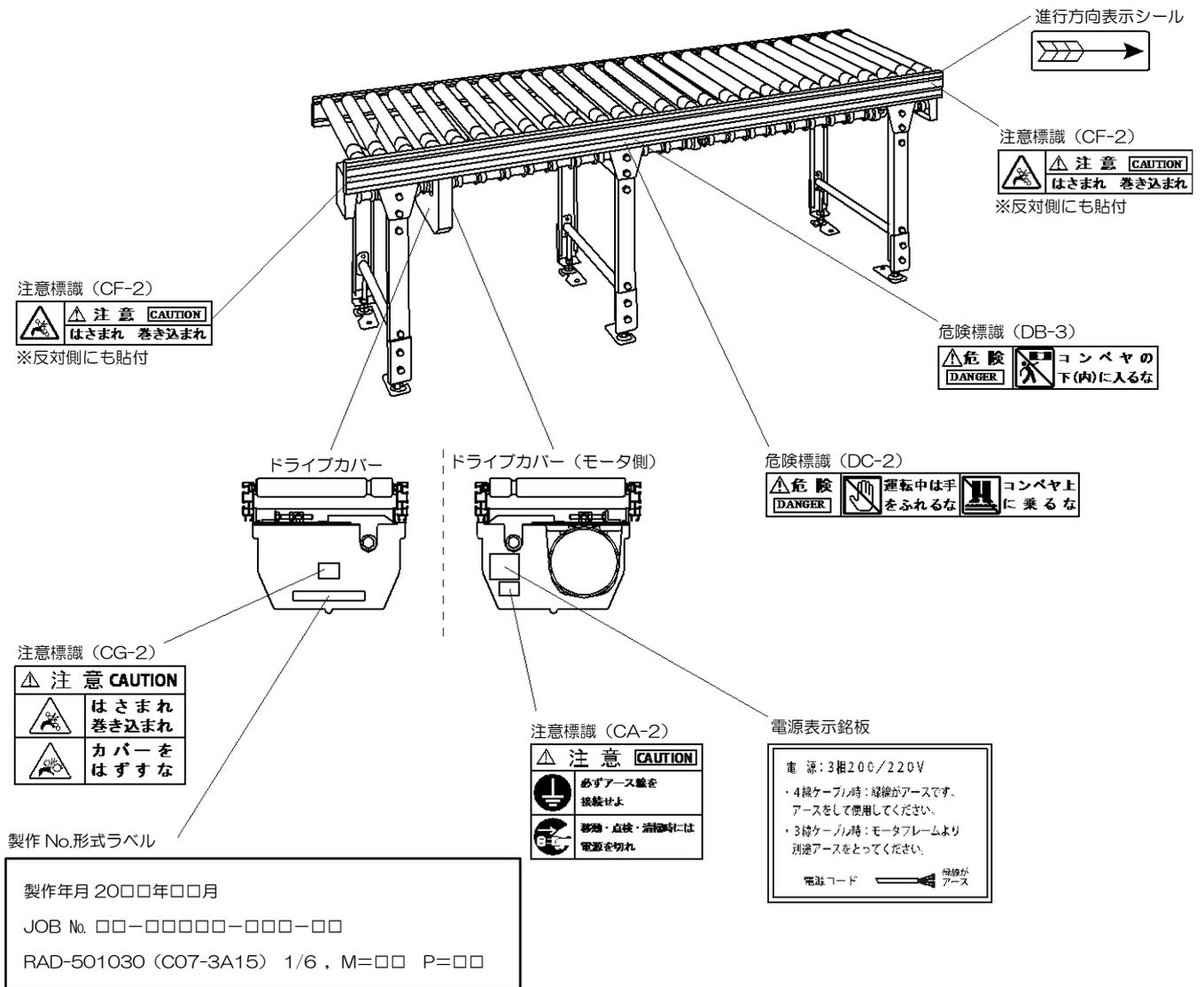
■警告標識等の種類と取付け配置

本機標準形の警告標識等の種類と取付け配置は次のとおりです。

(1) 警告標識の種類

標識区分	標識 (ラベル)	標識の意味
・注意標識	(CA-2) 	<p>■必ずアース線を接続せよ 感電防止のために、必ずアース線を接続してご使用ください。</p> <p>■移動・点検・清掃時には電源を切れ 移動・点検・清掃などのときは、必ず電源を切ってから行ってください。電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。</p>
	(CF-2) 	<p>■はさまれ・巻き込まれ注意 コンベヤに近づいて作業を行う場合は、はさまれ・巻き込まれないよう十分ご注意ください。思わぬケガをする恐れがあります。</p>
	(CG-2) 	<p>■はさまれ・巻き込まれ注意 コンベヤに近づいて作業を行う場合は、はさまれ・巻き込まれないよう十分ご注意ください。思わぬケガをする恐れがあります。</p> <p>■カバーをはずすな 安全カバーなどが付いている場合は、保守・点検などの時以外は外さないでください。プーリなどの回転部に巻き込まれケガをする恐れがあります。</p>
	(DB-3) 	<p>■上乗り禁止・下入り禁止 コンベヤの上に乗ったり、コンベヤの下には入らないでください。転倒したり、コンベヤに巻き込まれたり挟まれたりしてケガをする恐れがあります。</p>
	(DC-2) 	<p>■上乗り禁止・下入り禁止 コンベヤの上に乗ったり、コンベヤの下には入らないでください。転倒したり、コンベヤに巻き込まれたり挟まれたりしてケガをする恐れがあります。</p> <p>■接触禁止 コンベヤ運転中は、絶対に手を触れないでください。コンベヤに巻き込まれてケガをする恐れがあります。</p>

(2) 警告標識等の取付け配置
(RAD 型の例)



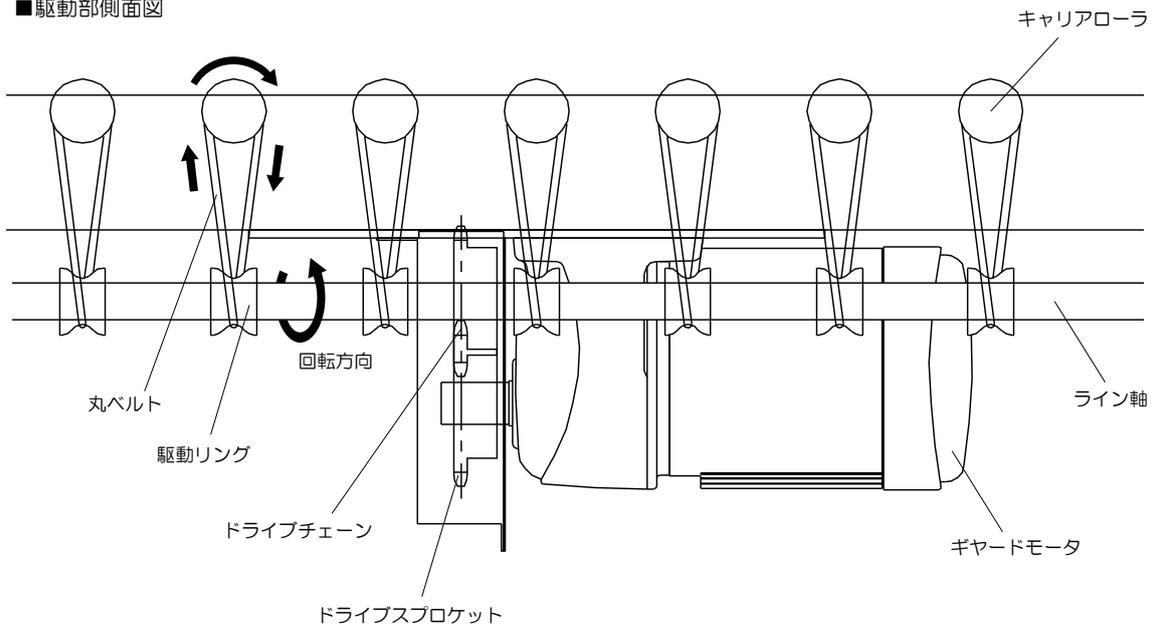
2

構造説明

リングラーは、丸ベルトによってキャリアローラとライン軸間に駆動力を伝達させる仕組みになっています。

- スリップ機能付の駆動リングにより、アキュムレーション（一時滞留）が可能です。
- 丸ベルトを一部外すことでラインプレッシャーを小さくしたり、搬送を停止させることができます。

■ 駆動部側面図

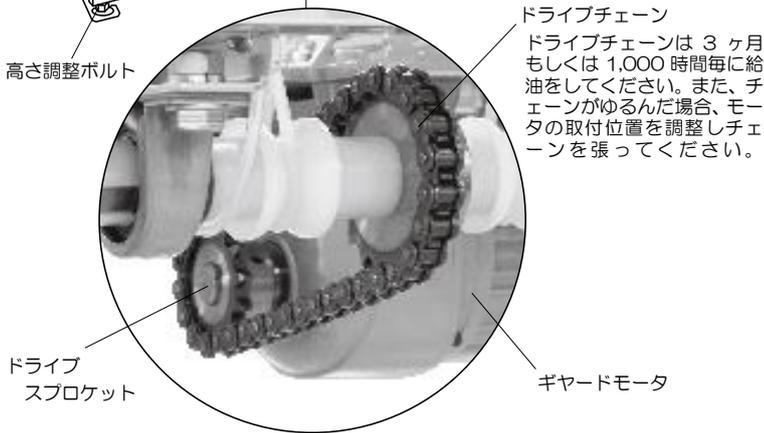
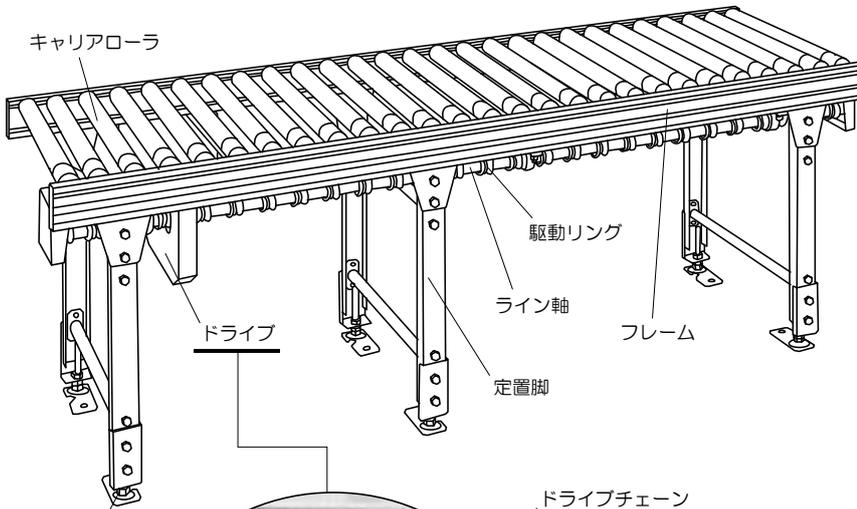


3

各部名称

■ドライブユニット (RAD 形)

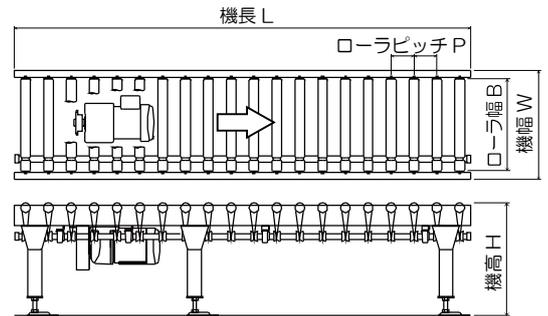
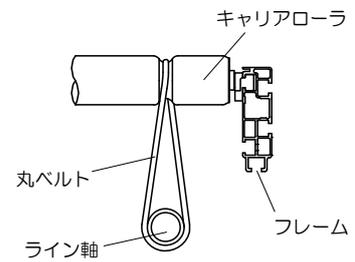
ドライブを搭載した基本ユニットです。



ドライブチェーン
ドライブチェーンは 3 ヶ月
もしくは 1,000 時間毎に給
油をしてください。また、チ
ェーンがゆるんだ場合、モー
タの取付位置を調整しチェ
ーンを張ってください。

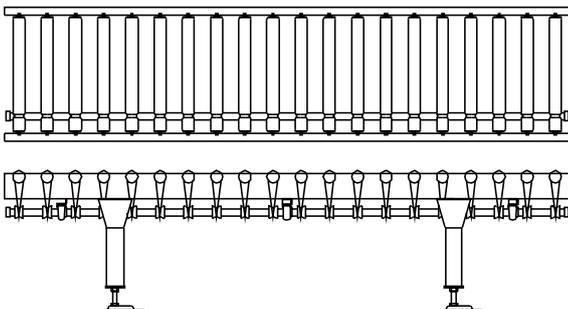
■ドライブ内部 (カバーを外した状態)

■丸ベルト駆動部



■ストレートユニット (RAS 形)

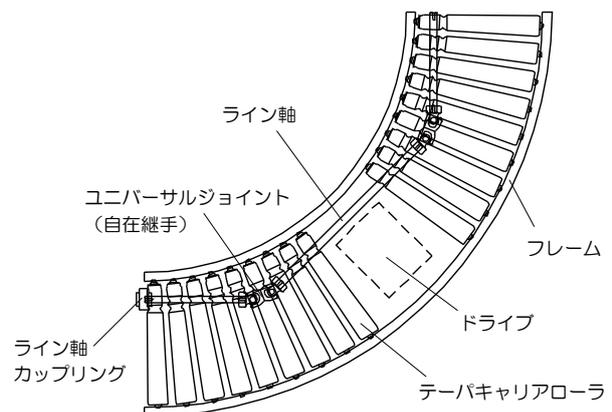
RAD 形に連動させて使う、
駆動のない直線ユニットです。



■カーブユニット (RACD・RAC 形)

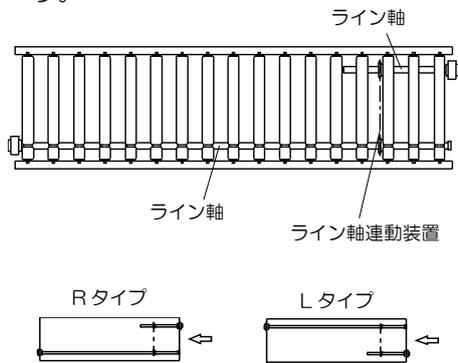
RAC 形：ドライブ搭載機種に連動させて使う、
駆動のないカーブユニットです。

RACD 形：ドライブを搭載したカーブユニットです。



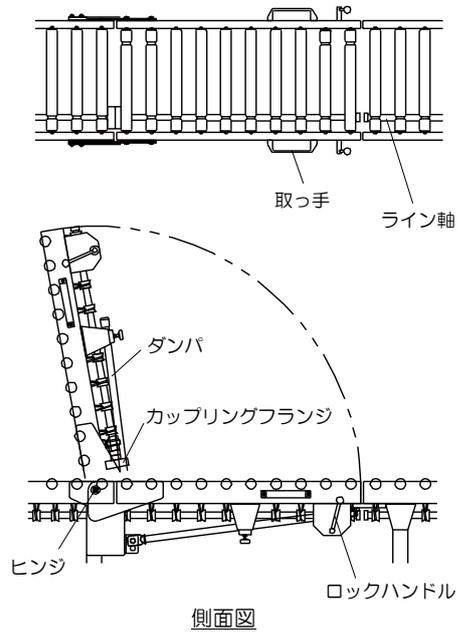
■チェンジユニット (RAE 形)

部分増速する場合や、ライン途中の分岐・合流点においてライン軸の配置を変更したい時に使うユニットです。



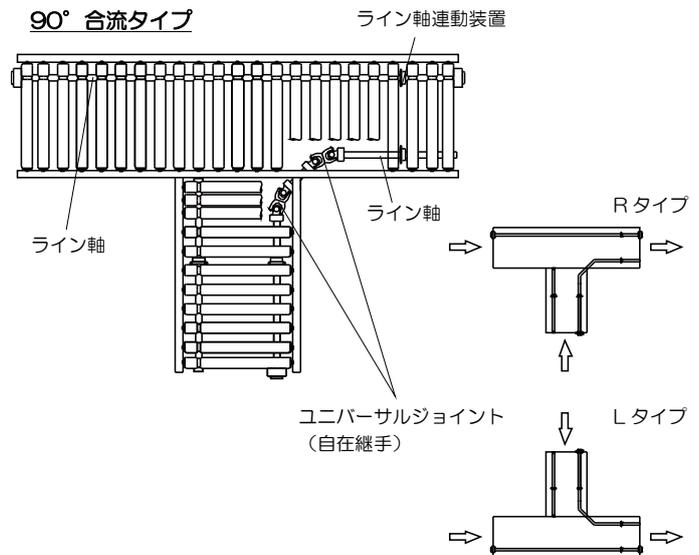
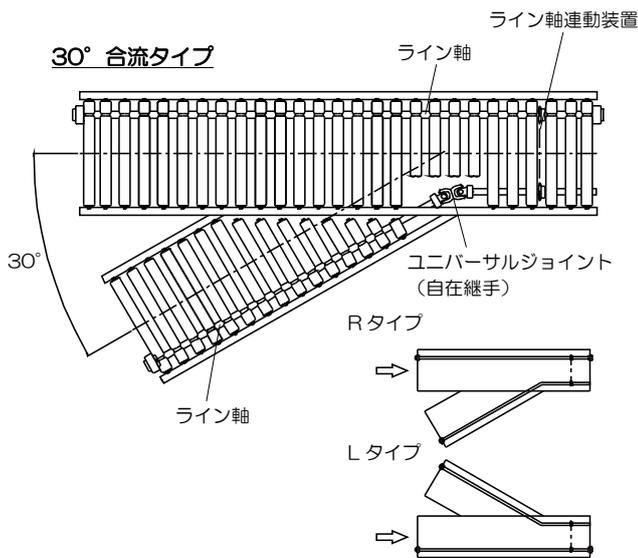
■はね上げユニット (RAU 形)

通路確保等にコンベヤの一部をはね上げるためのユニットです。



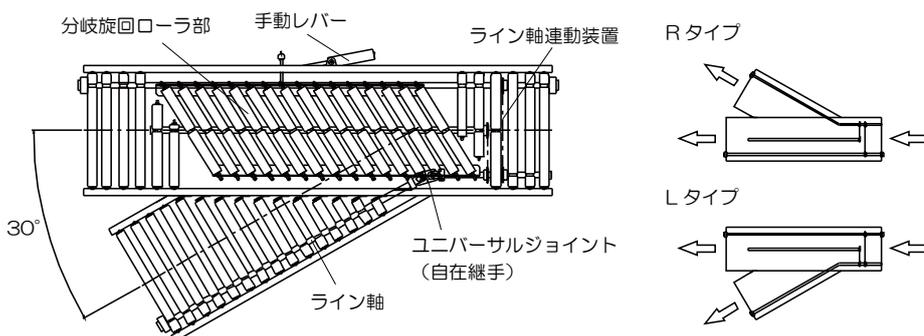
■合流ユニット (RAJ 形)

30° 合流タイプと 90° 合流タイプがあります。



■分岐ユニット (RAB 形)

30° 方向転換させるユニットです。エア切り替え式と手動切り替え式があります。



4

組立

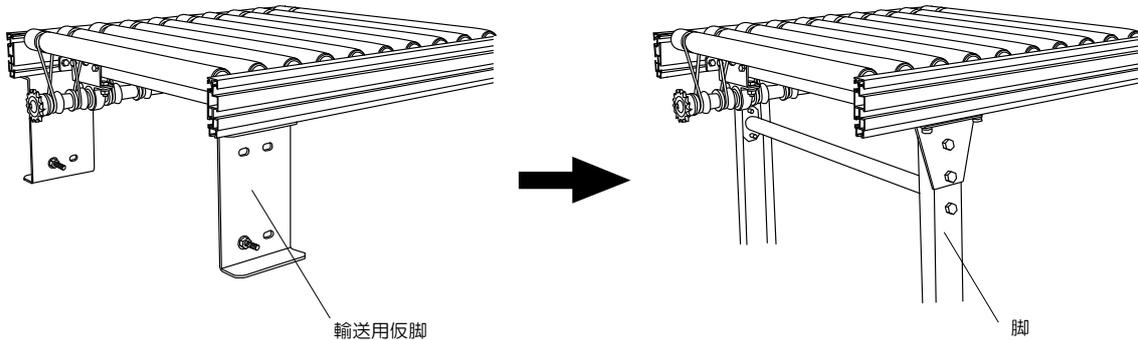


注意

輸送用仮脚を外す場合および脚を取り付ける場合は、必ず複数人またはクレーン等でコンベヤ本体を支えて**コンベヤ本体が落下または転倒しない状態を確保し、安全に十分配慮した上で注意して作業をしてください。**これを怠ると、**重大なけがや事故の原因**となる可能性があります。

4-1 脚の取付け

- (1) 輸送用仮脚（下図参照）を外す。
- (2) 下表を参照の上、所定の位置に本来の脚を取り付ける。



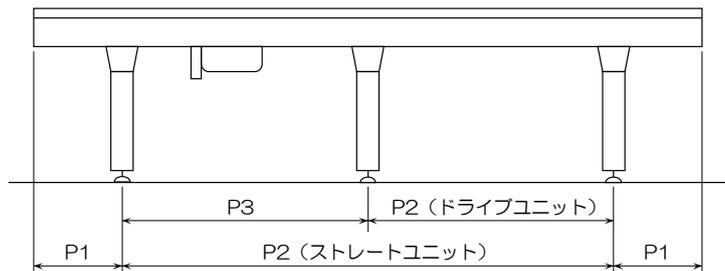
■取付け寸法表

単位：mm

機種名	ドライブユニット (RAD 形)				ストレートユニット (RAS 形)		
	脚数	P1	P2	P3	脚数	P1	P2
1.0m	2脚	100		800	2脚	100	800
2.0m	3脚	100	2000以下	1000以下 (800以下)	2脚	300	1400
3.0m	3脚	100	2000以下	1000以下 (800以下)	2脚	500	2000
最大値		500	2000	1000		500	2000

機種名	カーブユニット RACD・RAC 形	チェンジユニット RAE 形	跳ね上げユニット RAU 形	合流ユニット RAJ 形	分岐ユニット RAB 形
脚数	2脚	2脚	1脚	3脚	3脚

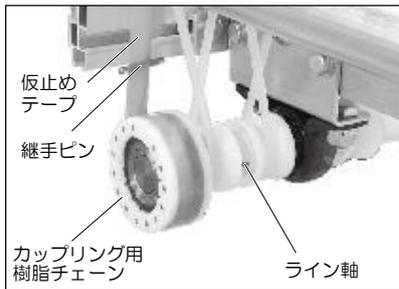
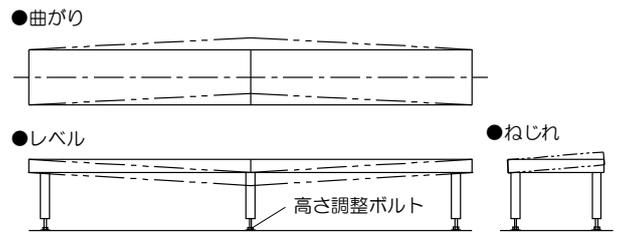
- ※ () 内寸法はローラピッチ 50mm の場合。
- ※ コンベヤ単独時の数値。カーブユニットを除き、ユニット間でフレーム連結する場合は連結部を脚でつなぐことができるため、脚数を少なくすることも可能です。
- ※ 最大搬送能力以下で使用する場合の数値。



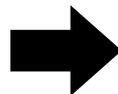
4-2 コンベヤの連結

機長が 3m を超えるフレームは、3m 以内のユニット単位で出荷されます。使用前にお客様にて連結してください。

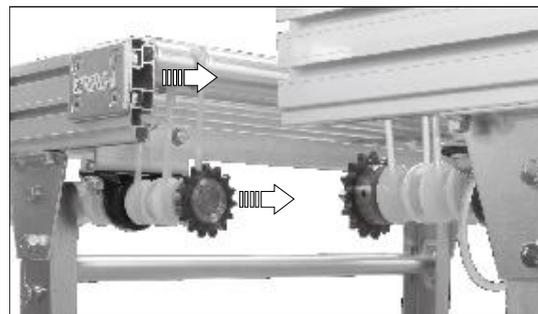
- (1) コンベヤを任意の場所に配置する。
- (2) 高さ調整ボルト（右図参照）で任意の機高に調整し、コンベヤ上面のレベルを水平にする。
- (3) カップリング用樹脂チェーンの仮止めテープを剥がす。（一緒についている継手ピンは後で使用します。紛失しないようご注意ください。）
- (4) カップリング用樹脂チェーンをカップリング用スプロケットから外す。
- (5) コンベヤ連結部を正しく合わせる。



仮止めテープを剥がす。



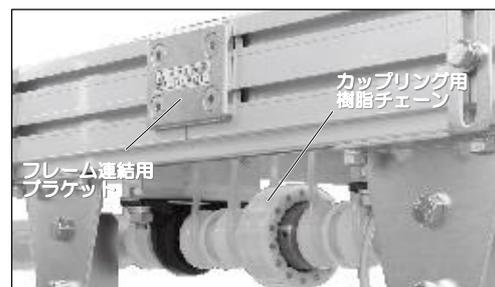
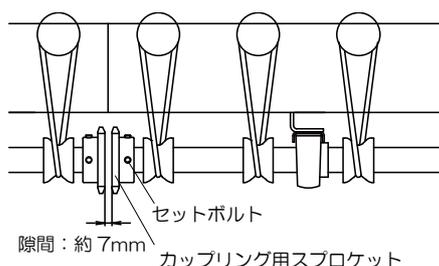
カップリング用樹脂チェーンを外す。



フレームとライン軸の位置を正しく合わせて連結します。



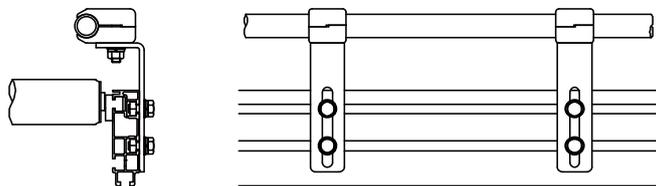
- (6) カップリング用スプロケットの隙間を 7mm 程度に調整する。（セットボルトをゆるめると調整ができます。調整が完了したら、ゆるめたボルトを締めてください。）
- (7) フレーム連結用ブラケットをボルト止めする。
- (8) カップリング用樹脂チェーンをカップリング用スプロケットに装着して、ライン軸を連結する。（(6)で行なった隙間の調整が適正であれば無理なく装着できます。無理がある場合は再調整してください。）
- (9) (3) で外した継手ピンをカップリング用樹脂チェーンに挿入し固定する。（継手ピンは樹脂チェーンを破損させないように、木製ハンマー等でやさしく叩きながら挿入してください。）



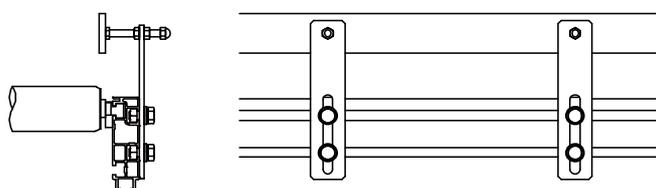
4-3 付属機器（オプション）の取り付け

付属機器は、フレーム側面のアリ溝にナットを挿入し取り付けてください。ナットはフレーム端部から挿入するか、フレーム側面より挿入可能な後入れナット（オプション）を使用してください。

●ガイドレール 例：G-SS2（スチール製）／G-SU2（ステンレス製）



例：G-A2B（アルミ製）／G-P2FA（樹脂製）／G-S2（ステンレス製）



この他にも、次のようなオプションがあります。

- ランニングスクレーパ（RARS）
- トラフィックコントローラ（RTFC）
- ターンローラ（TR125）
- ストッパ（RASTP）

5

運 転

次の事項を必ず確認したのち、運転を開始してください。

- アース線は接続されていますか。
 - アース線は確実に接続してください。怠った場合、感電の原因になり大変危険です。必ず電源ケーブルのアース端子（緑色）を接地（アース）してから使用してください。
 - 当機種の電源は三相 200V です。モータのリード線端子までが標準です。定速仕様はスイッチ等が付いていませんので、配線の際はモータまたはドライブカバーから、所定のアース配線をしてください。



■ アース線・漏電しゃ断器

感電防止のため、必ず「アース線」を接続してご使用ください。また、電源側に「漏電しゃ断器」を取り付けてご使用ください。（電気設備技術基準に定める保護装置のある回路でご使用ください。）



■ 非常停止装置

万一のとき、直ちにコンベヤを停止できるように「非常停止装置」を設けてご使用ください。



■ 起動警報装置

運転操作位置からコンベヤをすべて監視できない場合には、起動を予告する「起動警報装置」を設けてご使用ください。

- コンベヤの設置に異常はありませんか。
コンベヤフレームにねじれ・曲がりなどがあると、思わぬ事故の原因となりますので、これらの無いように設置してください。
- ローラに異常はありませんか。
ローラの回転具合を確認してください。異物等がからまっている場合は取り除いてください。回転不良の場合は良品と交換してください。
- ボルトやナットのゆるみ、脱落はありませんか。
運転中に部品がはずれたり、フレームがねじれたりして危険です。運転する前にボルト・ナットを増締めし、脱落したものは補充してください。
- コネクタは壊れていませんか。
漏電やモータ損傷のおそれがありますので、壊れたコネクタは良品と交換してください。
- 電気配線に異常はありませんか。
漏電や感電などの原因となり大変危険です。電気配線に露出部分が無いよう施工してください。
- 電源・電圧は正しいですか。
不明の場合は、取扱い責任者（有資格者）へご連絡ください。

※インバータ変速仕様は、別途添付されているインバータの取扱説明書をご覧の上、運転してください。

6

キャリアローラ

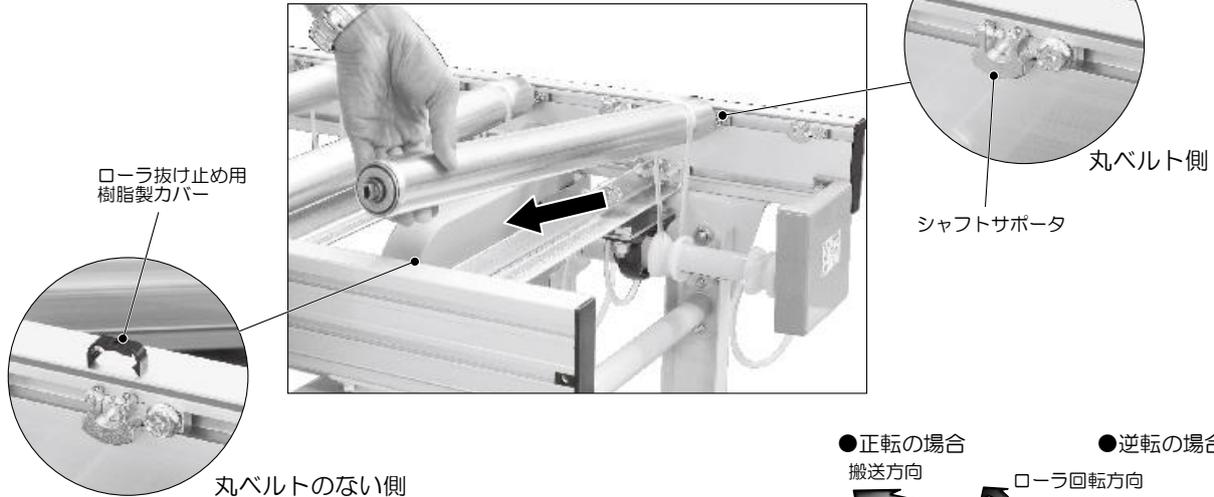
⚠ 注意 !!

- 必ず電源を切って作業をしてください。これを怠ると、巻き込まれや感電など重大なけがや事故の原因となる可能性があります。
- 手や指などが挟まれて怪我をしないよう、注意して作業してください。

1. キャリアローラの取外し（取付け）方

- (1) ローラ抜け止め用樹脂製カバーを外す。
- (2) 下の写真を参考に、丸ベルトのない側を持ち上げる。
- (3) 矢印の方向にキャリアローラを丸ベルトから抜き取る。

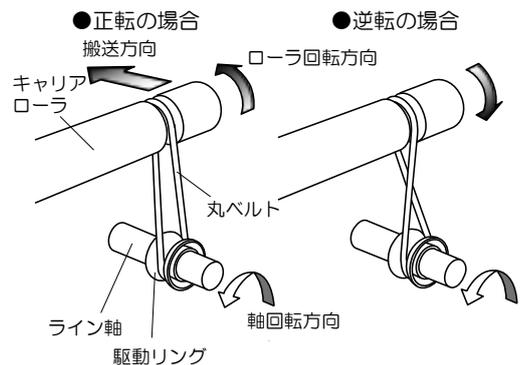
※ 取付けはローラの回転方向を掛け違えないよう注意し、上記と逆の手順を踏んでください。



2. キャリアローラ回転方向（搬送方向）の変更

丸ベルトを掛ける方向を変えることで、キャリアローラの回転方向（搬送方向）を変更できます。

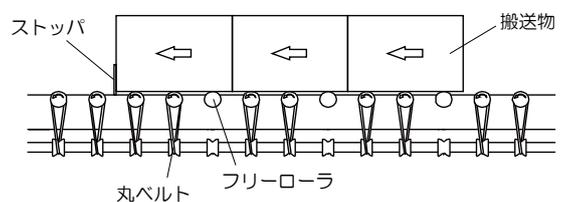
- (1) キャリアローラを外し、丸ベルトから抜く。
- (2) 下図を参考に、搬送したい方向に合わせて丸ベルトを掛け直す。
- (3) キャリアローラをフレームに戻す。



3. キャリアローラの駆動停止

丸ベルトを外すと、キャリアローラはフリーローラ（駆動停止状態）となり、搬送能力やラインプレッシャを下げるすることができます。

- (1) 任意の丸ベルトをキャリアローラから外す。
- (2) 外した丸ベルトをライン軸軸受けまで移動させ、テープなどで止める。

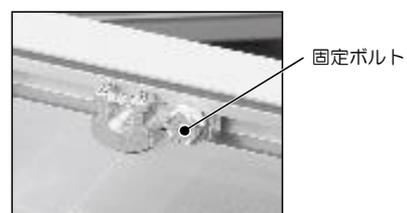
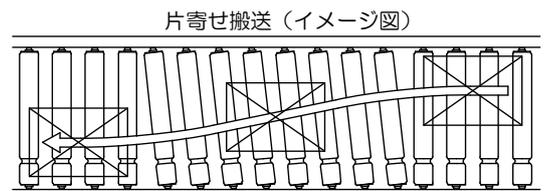


4. キャリアローラの配置変更

キャリアローラを斜めにセットすることで、搬送物を片側に寄せて搬送することができます。

- (1) キャリアローラを外す。
- (2) シャフトサポータの固定ボルトをゆるめる。
- (3) シャフトサポータを任意の位置へスライドさせ、再び固定する。

※キャリアローラの角度によっては、ローラが抜け落ちてしまったりガイドの抵抗等で搬送不良が発生してしまう場合があるためご注意ください。



丸ベルトの交換

1. 予備用丸ベルトの場合

ライン軸の軸受-軸受間に 1 本、予備用の丸ベルトが付属しています。(あらかじめライン軸に通した状態で、ライン軸軸受けの上に備え付けてあります。)

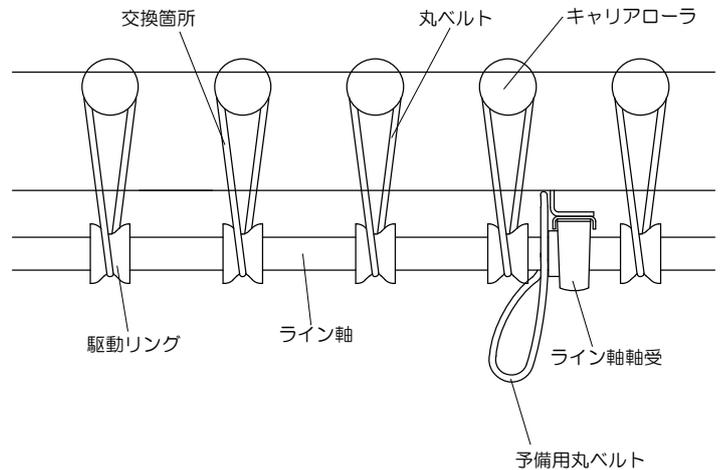
- (1) 交換したい丸ベルトを取り除き、交換箇所から予備用丸ベルトまでの間にある丸ベルトを外す。
- (2) 交換箇所へ予備用丸ベルトを移動させる。
- (3) 丸ベルトを全て元通りに掛け直す。

※丸ベルトは回転方向に注意して掛け直してください。(P.15 参照)

※運転開始初期に丸ベルトがキャリアローラから外れかかる現象が発生する場合がありますが、稼働時間が経過すると正常に戻ります。

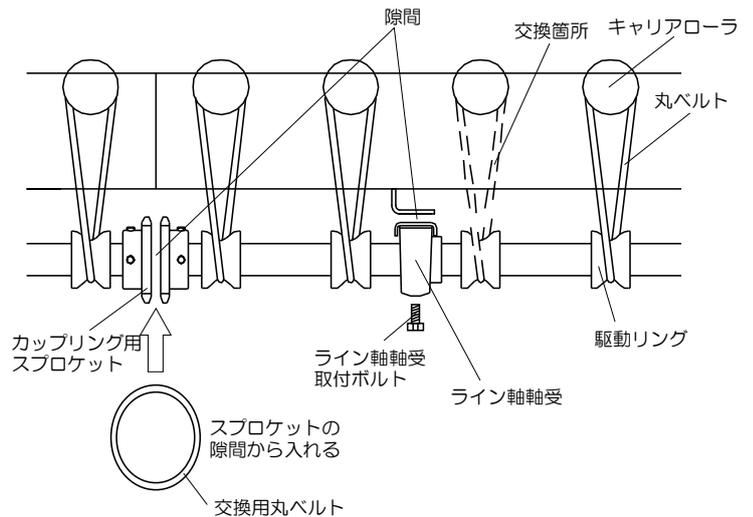
⚠ 注意 !!

- 必ず電源を切って作業をしてください。これを怠ると、巻き込まれや感電など重大なけがや事故の原因となる可能性があります。
- 手や指などが挟まれて怪我をしないよう、注意して作業してください。



2. コンベヤ外部から新たに丸ベルトを入れる場合

- (1) カップリング用樹脂チェーンを外す。(→P.12 参照)
- (2) 交換したい丸ベルトを取り除き、カップリング部から交換箇所までの間にある丸ベルトを外す。
- (3) カップリング用スプロケットの隙間から、交換用の丸ベルトをライン軸に通す。(交換箇所がライン軸軸受よりも奥にある場合は、更にライン軸軸受の取付ボルトを抜き、隙間を作って通してください)
- (4) 交換箇所まで交換用の丸ベルトを移動させる。
- (5) (ボルトを外した場合のみ) ライン軸軸受を元通りにボルト締めする。
- (6) 丸ベルトを全て元通りに掛け直す。

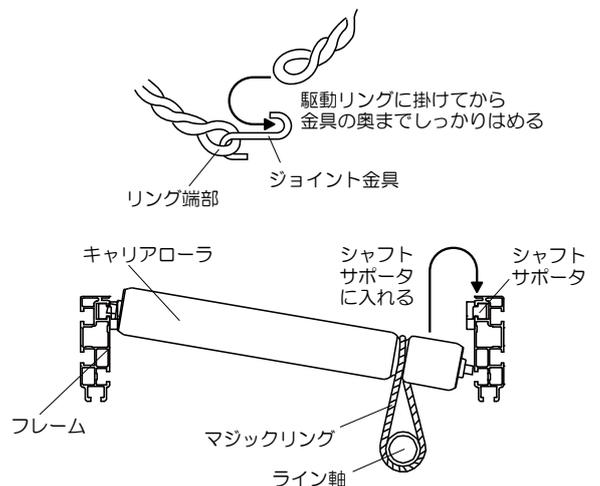


3. マジックリングを使用する場合

マジックリングは丸ベルトの予備がない場合の応急処置用部品です。(本来の丸ベルトよりも耐久性で劣りますので、あくまで応急用としてご理解ください)

- (1) 交換箇所の駆動リングにマジックリングを掛け、ジョイント金具でリング状にする。
- (2) 搬送方向を確認してキャリアローラをマジックリングに通す。
- (3) キャリアローラを元に戻す。

※マジックリングが外れないよう、ジョイント金具の奥までしっかりはめてください。



8-1 異常原因と処置

状 態	原 因	処 置
1.コンベヤが動かない。 (電源が入らない)	①コンセントは差し込んであります か。 ②スイッチは入っていますか。 ③電源は合っていますか。 ④配線が外れている、または断線して いませんか。	①点検・確認をしてください。 ②点検・確認をしてください。 ③電源を確認してください。 ④配線を点検・修理してください。(P.14 参照)
2.キャリアローラが 回転しない。	①丸ベルトが外れていませんか。 ②丸ベルトがキャリアローラの溝でス リップしていませんか。 ③ライン軸と駆動リングがスリップし ていませんか。	①ベルトを掛け直してください。(搬送方向に注 意→P.15 参照) ②丸ベルトおよびキャリアローラの溝を清掃して ください。 ③ライン軸を乾いた布で拭き、清掃してくださ い。
3. ライン軸が回転しな い。	①連結用カップリングが外れていませ んか。 ②スプロケット止めキーが外れていま せんか。	①正しく取り付けてください。(P.12 参照) ②正しく取り付けてください。
4.搬送物が搬送されな い。	①搬送可能な積載荷重をオーバーして いませんか。 ②キャリアローラに異物が付着してい ませんか。	①積載荷重を減らしてください。 ②異物を除去し、清掃してください。
5.ドライブ部の異音。	①ドライブチェーンのゆるみ、または 磨耗していませんか。 ②ギヤードモータの取り付けがゆるん でいませんか。 ③異物が噛み込んでいませんか。	①チェーンの張り調整および給油してください。 ②取付ボルトを締めてください。 ③異物を除去し、清掃してください。
6.コンベヤに触れると ビリビリする。	①フレームに静電気が帯電していませ んか。 ②漏電していませんか。	①アースを取ってください。(P.14 参照) ②点検・調査してください。

8-2 定期点検項目

点検周期	点検部位	点検項目	点検方法	処置
日常	丸ベルト	・伸び・磨耗・亀裂	・目視	・交換
1ヶ月	キャリアローラ	・異物の付着 ・軸受の磨耗	・目視 ・目視	・異物の除去および清掃 ・交換
	ライン軸 カップリング	・継手ピンの外れ ・樹脂チェーンの亀裂	・目視 ・目視	・取付け ・交換
3ヶ月	ドライブチェーン*	・ゆるみ ・摩耗 ・異音	・目視・触診 ・目視 ・目視・聴診	・調整・交換 ・交換 ・給油・調整・交換
	ユニバーサル ジョイント	・異音	・目視・聴診	・給油・調整・交換
	ギヤードモータ	・油漏れ ・異音 ・発熱	・目視 ・聴診 ・触診	・交換 ・ボルト増し締め ・点検・交換
	ライン軸用軸受	・ゆるみ ・異音 ・発熱	・目視・触診 ・聴診 ・触診	・ボルト増し締め・調整・交換 ・点検・交換 ・点検・交換
6ヶ月	フレーム・脚及び 各種取付け部品	・取付けボルトのゆるみ ・変形 ・損傷	・目視・触診 ・目視 ・目視	・取付けボルトの締付け ・修理・交換 ・修理・交換

* [注] ドライブチェーンは、3ヶ月または1,000時間毎に給油してください。

製品の保証について

弊社標準コンベヤを正常な使用方法及び保守管理のもとで、保証期間内に万一故障した場合、無償にて故障箇所を弊社所定の方法で修理させていただきます。

製品の故障によって生じた派生的な損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

◆保証期間

以下のいずれかに該当した場合、保証期間が終了します。

- (1) 製品出荷後 1 年を経過した場合
- (2) 稼動 2,400 時間を経過した場合

◆保証除外事項

以下の場合、保証除外とします。

- (1) 弊社カタログ・取扱説明書・本体貼付ラベルなどに記載された範囲外の使用をされた場合
および適正な保守管理をされなかった場合
- (2) 契約時の保証除外事項
- (3) お客様による使用上の誤り、不当な改造・修理、天災・事故などの外部要因に起因する
場合
- (4) 日本国内で購入された製品を弊社の承諾なしに海外へ持ち出した場合
- (5) 消耗品（丸ベルト・ローラ・プーリ・モータなど）

◆修理方法

故障した製品を弊社指定の工場へお持込みください。お持込み出来ない場合は、修理に必要な部品を提供いたしますのでお客様にて交換をお願いします。製品および部品の引渡しは日本国内といたします。

三機工業株式会社

●お問合せは最寄りの下記相談窓口まで

カスタマーセンター

TEL 046-273-8989 FAX 046-273-8990

URL <https://www.hansou.jp>



搬送.jp



お問合せフォーム

東日本ブロック営業 TEL 046-211-2872 FAX 046-276-0832

西日本ブロック営業 TEL 06-7176-7637 FAX 06-6232-3067

中部ブロック営業 TEL 052-582-5560 FAX 052-582-5545

- 三機のコンベヤは、製品の管理・輸送には万全を期しておりますが、取扱方法や不具合、ご不明な点がありましたら、最寄りの弊社担当員までご連絡ください。
- 本機の細部については改良などのため、予告なく変更することがありますので、あらかじめご承知ください。